

株式会社エフエム茶笛

平成 22 年度第 1 回番組審議会議事録

1. 開催年月日：平成 22 年 4 月 2 日（金）13 時 00 分～14 時 00 分
2. 開催場所：株式会社エフエム茶笛 2階 会議室
3. 委員の出席
委員総数：7 名
出席委員数：6 名
出席委員：大山博（番組審議会委員長） 細田和男 小林昌幸
天野三千代 飯島静江 岩田武利
放送事業者側出席者：代表取締役社長 荻野 喜美雄
専務取締役 東 たか子
営業課長 宮岡 洋明
4. 議 題：番組内容について
5. 議事概要：議題に沿って各委員お一人お一人の放送聴取の感想・意見・疑問点などを挙げていただき、他の委員と意見を交わす形式にて議事を進行、必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答しながら会を進めた。

6. 審議内容

委員長：それでは、各委員よりご意見をお願い致します。

委員：間もなく新学期ですが、私の回りで、お子さんが小学校で朗読した作文が、本人の声で、FM放送で放送されたという話を聞きました。その保護者の方は大変喜んでいました。こうした地域の学校での取材活動は、コミュニティ放送の役割を十分に果たしていると思います。

事業者：月曜日から木曜日の午前10時10分頃から放送している「ちびっこ文学館」という番組で、近隣小学校の協力をいただき放送しています。長寿番組なので、過去に出演した生徒の中には、既に成人を迎えている方もいらっしゃいます。

委員：子供の頃にFM放送の出演体験をすることで、家族を含めた認知向上やリスナーの獲得にも繋がるのではないのでしょうか。

委員：私の回りでは、お子さんが小学校の給食の時間に、FMの生中継に出演したという話をしてくれた保護者の方がいました。その保護者の方も大変喜んでいました。

事業者：毎週金曜日に放送中の「給食大好き！」です。入間ケーブルテレビとの連動企画で、入間市内の小学校の給食の時間に、教室へCATVスタッフとともにうかがい、FMでは生中継、CATVでは映像も含めた番組収録をおこなって、クロスメディアを仕掛けています。

委員：生中継が簡単なFM放送と、ビジュアルが伝えられるCATVによる連動は、もっと強化する必要があるのではないのでしょうか。

事業者：その通りです。これまで、前述の「給食大好き！」の他、CATVコンテンツであるテレビショッピングチャンネルQVCとFM放送の商品紹介連動番組を週単位のレギュラー企画として放送してきました。

また、当期は、入間ケーブルテレビのスタッフが定期的にレギュラー出演するコーナー企画などがスタートします。

委員長：FM放送の魅力を活かしたCATVとの連動を深めて、CATV視聴者をリスナーに取り込んでいていただきたいものです。今期も市民の皆さんに愛される番組制作を期待します。

(以上で議事終了)